

株式会社久米路建設

当社は親会社「株式会社小山田組」同様、SDGsの目標に環境保全と省エネルギーを掲げ、「建設工事で発生する伐採木の有効活用」を「重点取組1」としています。

同取組の設定は、当社が地域から信頼される企業を目指しており、「建設業の環境に与える負荷を減らす活動もまずは自分の地域から」との視点に立脚したものです。

指標は、2020年からの10年間で産業廃棄物約37.65トンを40%（9トン）以下まで下げることとしましたが、それへの進捗状況は次の通りです。

2022年度排出量 約14.89トン

2023年度排出量 約6.675トン

2024年度排出量 約9.825トン（排出量増）

現在、当社では現場で発生した産業廃棄物の内、伐採された樹木を最大限分別してダンプに積載、リサイクルセンターまで運び込み、同所でチップに粉碎、堆肥として再利用してもらうことに努めています。

また、当社は、高性能油圧式薪割り機を購入、現場で伐採された大きな立木を薪として利用しています。

完成した薪は社内のストックヤードで乾燥・保管されていますが、それを知った地域の方々から当社に対し、「購入したい。」「譲っていただきたい。」との問い合わせが多数届いています。

引き続き産業廃棄物の削減に努める一方、伐採木の有効利用も進めてまいります。

「重点取組2」は、株式会社小山田組と同様、交通安全に努め社会に優しい運転を推進して、交通事故・違反を発生させずエコ運転に努めることです。

小山田組の社是「当たり前のことをしっかりやろう。」から「目標にふさわしい。」と設定されました。

指標は、各社員に自身が安全運転に徹しているか、自覚を促すことにつながる「SDカード（運転記録証明書）の取得率向上（2020年度87.5%→2030年度100%）」としました。その進捗状況は次の通りです。

2022年度 100%

2023年度 100%

2024年度 100%

会社幹部から出勤する社員に対し、道路状況に応じた運転をするよう、随時呼び掛けていることが奏功したのか、これまでに人身事故の発生はなく、大きな物損事故の発生もありません。

引き続きSDカード取得率を高水準で維持しつつ、交通安全及びエコ運転に努めて参ります。